

国際会長ブリテン&国際本部ニュース

国際会長からのメッセージ

2015/16国際会長
ウィッチャン・ブーンマパジョン

親愛なる同志の会員の皆様へ、

ワイズメンズワールド誌のこの号でまた皆様にお会いし、希望に満ちたクリスマスとおめでたい新年のご挨拶が出来ます事を光栄に思います。我々の組織のリーダーと会員の皆様に奨励し、「すべての人を一つにしてください」(ヨハネによる福音書17章21節)という精神を持って協働する為に「恵みを数えよう」という私のスローガンを堅持させてください。



◆EMCは近年我々の主たる努力目標の一つであり、地域会長の方々、そのキャビネット、国際事業主任の皆様と緊密に協働しながら我々の運動の基盤となる会員数を維持し、増やす為の方策を探ってきました。しかしながら、世界的な経済不況とその波及効果は間違いなく我々の新入会員獲得にも影響を与え、結果として本年度期首には会員数が5%減少しました。一方でカナダ・カリブエリア、韓国エリア、南太平洋エリアにおいて最近、会員数が増加した事に勇気を得ています。指導的役割を果たされた皆様に感謝の意を表すると同時に、他のエリアとりわけ会員数が激減したアフリカエリアの兄弟姉妹の上に神様の祝福がありますようにお祈りを捧げたいと思います。近年1度は達成したことのある会員数30,000人台を達成できるように努力し、その方策を探るべきです。

◆ワイズメンズクラブとYMCAの協働は世界各地で見事に実を結びました。昨年タイのチェンマイで開催された四年に1度開催されるアジア・太平洋YMCA同盟円卓会議で目の当たりにした協働と、それに続いて2016年2月14-17日に開催される各国総主事円卓会議でワイズ運動のメッセージを共有する事は、正に画期的な出来事です。この取り決めを通じて世界中のワイズメンズクラブ、Yサービスクラブの潜在的メンバーを獲得する為に導入す

べき基本的理念を共有しなくてはなりません。

◆人類愛は、CS事業とYMCAとの重要な提携関係を通じて社会に奉仕する上で我々の運動の核となる価値観です。世界規模でTOFを実施することで、これまで国際的にも国内的にも人道上の必要性に応えることができたのです。最新の例としては、韓国エリアのワイズメンが実践した「ワイズメン医師団」があります。そのボランティアは、2016年2月にカンボジアで奉仕活動を行います。この奉仕活動により我々は遠隔地支援活動に越境支援という新たな次元を加えたこととなります。

◆ロールバックマラリア(RBM)は我々の組織の代表的なプロジェクトであり、アフリカ、その他の地域の子供たちの命を救う為に国際赤十字社と赤新月社と提携できることを誇りに思います。RBMは185,000スイスフランの予算が計上されている主要なCS事業です。ワイズメンズクラブ国際協会の一員として、助けを必要としている人々に奉仕する事や、既に幾つか述べたように、下僕のリーダーとして役割を担う機会が私に与えられた事を神の恵みであると感じています。そうなのです。ここで改めてチャレンジと好機と成功の新しい年を迎えるにあたって前進しながら我々に与えられた恵みの数を数えましょう。

結論として、去年韓国で開催されたアジア・太平洋YMCA同盟総会で元世界YMCA同盟総主事が聖書朗読の時間で述べられた事を心に留めましょう。

「人類は遙か彼方の星を探索しており、数十億光年離れた新しい惑星を見つけることができるなら当然誇りに思うべきですが、この地球上で我々は未だに貧困、飢え、欠乏をはじめとする多くの深刻な問題に悩まされています。我々の置かれている現状と我々のヴィジョンや夢は乖離しているのです。

我々はより大きなショッピングモールやより高い摩天楼を建設するのに常にあくせくしている一方で、何百万人もの若者、特に女性は家計を切り盛りするのに苦勞し、尊厳を持って生きる為のまともな仕事を必死になって見つけようとしているのです。」

皆様の上に神様の祝福がありますように。

ワイズメンズワールド2015/16年度第2号
公式出版物
ワイズメンズクラブ国際協会
Ave Sainte-Clotilde 9, CH-1205,
Switzerland
Tel: +41 22 809 1530
www.ysmen.org

編集者 Koshy Mathew
222, 7C Main, First Block HRBR Layout,
Kalyan Nagar, Bengaluru 560 043, India.
Tel: +91-9845036147
Skype: Koshy.mathew367
koshym@gmail.com

編集者補佐
アフリカ Tunji Makinde (ナイジェリア)
+234/8034064882 (M)
tunjimakinde@yahoo.com

アジア Yaz Okano (日本)
+81/797881808 (O) +81/797844559
APYazOkano@gmail.com

カナダ・カリブ Bill Irwin (カナダ)
+1/9025693187 (H)
wci0909@hotmail.com

ヨーロッパ Liudmila Tyukina (ロシア)
+7/9122344611 (M)
assorti44@yandex.ru

インド B. Pavithran (インド・ケララ)
+91/9847220054 (M)
pavithbb@yahoo.co.in

韓国 Kim Kyun (ソウル)
+82/27352395 (O) +82/27321205
ysmenkrhq@gmail.com

ラテンアメリカ
Ricardo Andre Cardenas Zanabria (パナマ)
+51/198772474 (M)
randre.cardenas@gmail.com

南太平洋 Bill Schmidt (オーストラリア)
+61/344338599 (H)
schmidts@bendigodomain.com.au

アメリカ Fred L. Leonard (アメリカ)
+1/5012623566 (H); +1/5012623566
fleonard@cablelynx.com

配送 Babu Oommen
56, Royal Meridian Layout, Begur Road
Bangalore, 560 068, India.
+91/9901199863 (M)
babuoomen@yahoo.com

増刷印刷所 National Printing Press
National Printing Press
Koramangala, Bengaluru 560 095, India.

会員への個人的配送に限る

編集担当者のページ

尊敬する読者の皆さまへ

コシー・マシュー

前号のワイズメンズワールド誌を発行して以来、身の回りの世界でも、我々の運



動においても多く出来事がありました。国際会長と国際書記のメッセージは、それらの出来事の幾つかを反映していますが、特に我々の組織の世界的な

会員数の減少について述べています。

明るい要因は、ワイズメンのリーダー達がこの問題を把握し、悪しき傾向を反転させ、我々の組織が設立100周年を迎える2022年に向けて全身全霊を傾けていることです。それを実現する為には、会員の1人1人が各々の責任を果たさなければなりません。「1人が1人に働きかける」事がワイズメンのリーダー達が過去10年に渡って努力している会員数5万人超という夢のような数値目標を達成する適切な方法なのです。

昨年の第4四半期に国際レベルで2つの注目に値する出来事が起こりました。1つは、ミレニアム開発目標(MDG)の期間が終了し、持続可能な開発目標(SDG)の期間が始まったことです。これから持

続可能な開発目標について話し合いをする事になりますが、2030年が目標達成の節目の年と定められました。もう一つは、パリで開催された気候変動に関する会議での地球温暖化による気温上昇を2°C以下に抑えるという実現の可能性がある決議に目標を定めたことです。どちらの目標も正しい方向づけがなされ、重点的に取り組むなら実現可能です。しかしながら、最近目にする人類の強欲さを考えると、これらの目標を達成することができのでしょうか？

最近刊行された「最も豊かな1%のための経済」と題するオックスファム報告書は、実にショッキングな報告書です。それによると世界人口の半分を占める最も貧しい人々(37億人)が所有する富は、2010年から1兆ドル(41%)減少しました。一方で世界の金持ち上位62人が所有する富は、5,000億ドル以上増加しました。この研究によれば、もしこの傾向が続けば来年には世界人口の1%が残りの99%が所有する富以上の富を所有する事になるのです。

これは驚くべき事であり、その格差を減らし、全人類発展の為の持続可能な目標という課題に取り組む上で我々にとっての克服すべき難題です。

ワイズの皆様のご健勝を願っております。

短信欄

2014-15年度バランタイン賞

ワイズメンズクラブ国際協会の最高の名誉である2014-15年度のハリー・M・バランタイン賞が元国際会長ベンソン・ワブレ氏に授与されました。ナイジェリア・オポドゥ市で2015年10月24日に開催されたアフリカエリア大会においてアイザック直前国際会長からベンソン・ワブレ元国際会長にバランタ



イン賞と表彰状が贈られました。

ステファニー・スペンサー(ジャマイカ出身)さんが2015-16年度ユース・インターンに任命されました。スペンサーさんは、経営学(学士)の学位を持つマーケティングの専門家であり、マンデビルYサービスクラブの一員です。彼女は2015年9月から国際本部で働き始めました。



次の号に掲載する記事と写真の提出締切日は2016年2月15日です。

国際書記からのメッセージ

今こそ、自らを変革しよう！

西村隆夫



ワイズメンズクラブ国際協会2015/16事業年度上半期があっという間に終わり、ウィッチャン・ブーンマパジョン国際会長の指導のもとに下半期が始まりました。ワイズメンズワールド誌のこの号が発刊される直後、上半期の活動を評価し、2016/17年度ジョン・ウイルソン国際会長の目標達成の準備を整える為に9人の次期エリア会長、国際会長トロイカ(直前・現・次期)、国際会計、国際書記で構成されるワイズメンズクラブ国際協会年央会議がインドのバンガローで開催されます。

近年、世界の全ての奉仕クラブ(団体)が会員数の維持や増強をする上で危機的な時期に直面しているのは事実です。今こそ、自らを変革し我々の組織の活動の現状を打破する時なのです。6年後にはワイズメンズクラブ国際協会設立100周年を迎えます。我々は決して悲観的になる必要はありません。というのもワイズの献身的なリーダーの方々地域社会とその住民に奉仕する為に全身全霊傾けておられるからです。また部、区、エリアにおけるYMCAとの協働は他に例を見ない特権であると言えるでしょう。つまり両組織

が使命を共有し、行動を共にする事が重要なのです。地元レベルにおいてもリーダーの方々それぞれの仕事や奉仕活動の強みを考慮に入れ、それを活かすことによって、互いに変革できるよう努めなければなりません。

昨年京都で開催された国際議会において、国際本部の維持費を大幅に削減し、タイにサテライト(本部から離れた衛星のような小規模の)事務所を設けることにより、未来のリーダーとユースを育成する研修プログラムと講習会をもっと支援する為の実行予算が承認されました。国際執行役員(国際会長、次期国際会長、直前国際会長、国際会計)及び国際書記は、費用効果の高い小規模事務所設立の案を練る為に昨年12月にチェンマイYMCAで臨時会議を招集しました。このような体制は、台北の国際大会が終わり次第、2016年の夏から始まります。これは国際本部のジュネーブからの移転を意味するのではなく、最小限に縮小されることを意味します。国際書記が現在の有能な職員と共に両事務所の責任を負う事になります。

2022年以降も持続可能な未来の為に我々の運動が貢献できるように全てのエリア、区においても変革が求められています。

変革の1年となるよう皆様に神様の祝福がありますように。

ある人たちは、遅いと考えているようですが、主は約束の実現を遅らせておられるのではありません。そうではなく、一人も減びないで皆が悔い改めるようにと、あなた方のために忍耐しておられるのです。(ペテロの手紙二第3章9節)

その他の会議でのYMI

パリの気候変動会議にて

ワイズメンズクラブ国際協会を代表して多くの関係者が、昨年12月パリで開催された国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)に出席しました。我々のリーダーの内の3人が世界YMCA同盟とYMCA-RGE(YMCA環境リソースグループ)によって開催された会議と並行して開催された気象イニシアチブ分科会に出席しました。その3人はケニア出身のクリフォード・コリンズ・オモンディ・オクワニー、エジプト出身のミナ・カラム・アジズ、香港出身のアルヴィン・カンです。下の写真で彼らが中央に持っているのはTOF-GPF資金集めの為にアジア太平洋・YMCA同盟総会で販売されたTシャツ



です。国際本部から参加したティナ・ロス・スタインズドタールも進行役として分科会に参加しました。

クリフォードとアルヴィンは2人ともYMCA-RGEの活動的なメンバーであり、気象分科会に出席したユースと共に活動しただけでなく、オブザーバーと認定されてCOP21交渉に参加しました。

締約国会議は、1995年以来毎年開催されており、1994年3月21日に施行された国連気候変動枠組条約を基盤としています。ここ数年間に渡ってYMCAの関係者が締約国会議に代表を送り、市民社会分野で大きな働きをしてきました。しかし今回は世界中のYMCAから400名を超える参加者があったことから、締約国会議とのこれまでの関わりの中で最大の関わりが持てました。

パリ協定が第21回締約国会議閉会までに全ての締結国により満場一致で合意にいたったことは極めて明るい成果であると言えるでしょう。パリ協定は、地球の温暖化を平均で摂氏2度(華氏3.6度)抑えることを目標とし、摂氏1.5度(華氏2.7度)抑える努力をすることを求めています。

第22回締約国会議は2016年11月7-18日にモロッコのマラケッシュで開催されます。

情報源:ワイズメンズクラブ国際協会フェイスブックのページ

持続可能な開発目標に関する説明会にて

ワイズメンズクラブ国際協会の関係者が出席したもう1つの会議は2015年9月末にジュネーブの国連事務局で開催された「持続可能な開発目標の為の2030年アジェンダ」に関する説明会です。

この会は、国連事務局長によって開催され、国連の「2015年以降の開発計画」に関する国連事務総長特別顧問アミナ・モハメッド女史が議長を務めました。

この会は、概要に関する説明会であり、個々の目標の詳細については触れられませんでしたが、これは、我々の組織にとってどのような奉仕活動が持続可能であるのか、又若者が地域社会と世界を維持する為に不可欠な人的資源であるので、地元の地域社会レベルで奉仕活動を行う為にどのように会員増強すべきかを考える上で有益な説明会でした。



西村国際書記(上の写真)、ユースインターンのステファニー・スペンサー、ティナ・ロス・スタインズドタールの3名がワイズメンズクラブ国際協会を代表してこの説明会に出席しました。

新しい一連の目標は、ミレニアム開発目標が焦点を置く健康、飢餓、教育に留まらず、気候と平和に関する目標を含んでいます。それらは、発展途上国だけに焦点を置いているミレニアム開発目標とは異なる普遍的な目標です。以下がそれらの目標を図案化したものであり、持続可能な開発目標の主な長所に関する専門家の意見です。



これらの目標の強みの1つは、包括的であることです。これらの目標は、もはや発展途上国のみには当てはまるものではありません。多くの発展途上国が抱えている教育、健康、環境保全、法による統治は地球全体の共通する問題なのです。持続可能な開発目標の創案者達は、国家を揺るぎないものとし、内戦勃発の可能性を減少させない限り、地球規模で貧困と戦うことはできないことを認識していたのです。従って実効性と信頼性を兼ね備えた体制づくりをする上で目標16に新たに焦点を置いたのです。(マーティン・エドワーズ、アメリカ・ニュージャージー州、セトン・ホール大学、国連・グローバル・ガバナンス研究センター所長、准教授)

これらの開発目標は、平和と提携関係に加えて3つの主要な柱(経済、社会、環境)を考慮に入れた、持続可能な開発の統合的ヴィジョンを示しています。歴史的に見て世界が開発重視社会と環境保全重視社会の2つに分かれていたことを考えると、個々の目標の種類に関してだけでなく、目標とする分野の3つの主要な柱に含まれる要因の統合性に関して、大きな前進であると言えます。

それらの開発目標は一般市民、市民社会、学界、私企業、地方自治体政府などから吸い上げた情報を元に行われた政府間交渉の賜物でもあるのです。たとえ独裁者達が「十分に整理されていない」とか「多すぎる」と主張しても、これらの開発目標は、前進する上での重要な合意を形成しています。持続可能な開発は、複雑多岐に渡っています。我々の生きている世界も複雑多岐に渡っています。持続可能な開発目標は、この現実の世界を反映するのに大いに役立っています。(シャノン・キンドメイ、カナダ・オタワ市、カールトン大学ノーマン・パターソン国際問題学部特任研究教授)

お知らせ

YMCA地球市民フォーラム: ジャパン・ピースボートと提携して第4回YMCA平和航海の旅は2016年3月31日横浜を出港し、佐世保、済州島(韓国)、広島を經由して4月8日に横浜に戻ります。ワイズメンズクラブ国際協会アジアエリアは、世界YMCA同盟、アジア・太平洋YMCA同盟、日本YMCA同盟、韓国YMCAと協働してこの航海を企画しました。

フォーラムへの登録もしくは詳しい情報を知りたい場合は、www.ymca.int にログオンするか、世界YMCA同盟主任主事 Jose Varghese のアドレス jose@ymca.int までメールでご連絡下さい。



ワイズメンズクラブ国際協会第72回国際大会(IC)が2016年8月4日~7日に台湾の台北で開催されます。国際ユースコンボケーション(IYC)は、8月1日に開会し7日に閉会します。両大会の登録受付はすでに始まっています。詳細は、国際本部ウェブサイト <http://www.ic2016.org/> で入手できます。